

登録コード	L2964200		開講年度	2026			
担当教員	KIM JUNG OK			副担当			
授業科目	朝鮮言語文化特論						
英文授業名	Korean Language Culture: Specialized Study						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限
講義室	人文第2講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加わった対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力				韓国言語文化を学習することによって、韓国の詩、小説、随筆に関する理解が深まる。 また、日韓文化に対して比較できる思考力が高まる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加わった対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】				韓国の詩、小説、随筆を通じて、そこに登場する人物の考えや価値観を一緒に考えることによって、もっと広い観点から物事を考えるようになる。		
	【2023年度以降加わった対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】				韓国語コミュニケーション能力が身に付き、自ら発信できるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	韓国の随筆、小説、新聞記事など、様々な文章を読む。ビデオ資料も多く取り入れつつ授業を進めていく。 そして授業の後半は、韓国語コミュニケーション能力が向上出来るように、会話の練習もたくさんしていく。						
授業計画	1)ガイダンス 2)童話1 3)童話2 4)ことわざ（日韓比較） 5)エッセイ 6)小説3 7)小説2 8)-9)韓国映画鑑賞 10)新聞記事1 11)新聞記事2 12)広告（チラシ）から見える韓国の買い物 13)随筆1 14)随筆2 15)韓国伝統遊びで文化を知ろう。授業アンケート（最後の15分で実施） 16)期末試験						
成績評価の方法	課題：3割（授業時に指示した範囲の単語調べ及び翻訳） 授業中の活動・発表：3割（韓国語会話の受け答え、授業への取り組み） 期末試験：4割						
成績評価の基準	1)授業への積極的な参加（発言・質問等） 2)予習がしっかり出来ている 3)課題をしっかりと提出する 4)授業で示した表現を正しく用いて教員と受け答えが出来る 5)長文の作文が作られる 1)～5)の5項目を満たしていれば「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目を満たしていれば「やや上にある」、2項目までは「水準にある」						
事前事後学習の内容	毎回課題を課す。課題をしっかりしてから授業に臨むこと。						
履修上の注意	韓国語の初歩的な文法知識のある学生の受講が望ましい。 予習や復習をすること。 *遅刻と認定する時間：授業開始10分後、欠席と認定する時間：授業開始30分後						
質問、相談への対応	seals42@hotmail.com						
教科書	使用しません。						
参考書	授業時に紹介します。						